

ブラジル金融政策（2023年5月）

利上げ再開の可能性は低下も、利下げ開始に向けた課題は残る

2023年5月8日

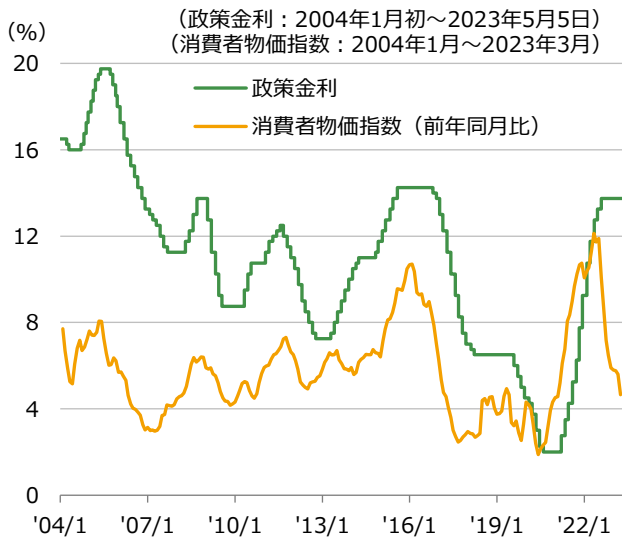
新たな財政枠組み案の議会審議とインフレ目標変更の有無に注目

ブラジル中央銀行は5月3日（現地）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を13.75%に据え置くことを決定しました。据え置きは6会合連続です。

声明文では、財務省が3月末に発表した新たな財政枠組み案などを受けて「財政政策に起因するインフレ見通しの不確実性は一部後退した」との認識が示されました。そうしたことから、過去5回と同様に「インフレ率が想定通りに沈静化しない場合は、利上げ再開を躊躇しない」としながらも、それは「可能性の低いシナリオ」との文言が新たに追加されました。金融引き締め姿勢はやや軟化した格好です。

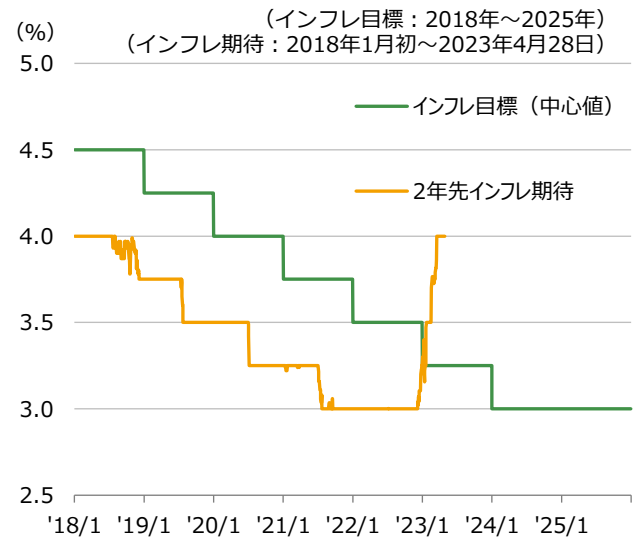
一方、ブラジル中銀はインフレ期待がインフレ目標からかい離している点を引き続き問題視しており、利下げに関しては慎重な姿勢を崩していません。今後の利下げ開始時期を見定める上では、①新たな財政枠組み案の議会審議、②3年先のインフレ目標が決定される例年6月のCMN（国家通貨審議会）に注目です。①の新たな財政枠組み案はまだ修正余地があるため、その結果次第ではインフレ期待ならびに利下げ開始時期が変化する可能性があります。②に関しては2026年のインフレ目標が何%に設定されるか、また2024年と2025年のインフレ目標が既定の3%から引き上げられるかどうかで、利下げ開始時期やその後の政策金利の経路が変わってきます。インフレ期待の低下やインフレ目標の引き上げで両者の差が縮まることで利下げ開始の条件と言えるため、これらの動向が注目されます。

ブラジル：政策金利と消費者物価指数



(出所) ブルームバーグ

ブラジル：インフレ目標とインフレ期待



(出所) ブラジル中央銀行、CEIC

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。